

# INVESTMENT STRATEGY MONTHLY <投資戦略マンスリー> DIGEST



2024年12月

## ● 金融市場（6ヵ月後）見通し

### 株式

|              | 直近値    | 6ヵ月後の見通し      |
|--------------|--------|---------------|
| 日本 日経平均株価(円) | 38,208 | 37,500-43,500 |
| TOPIX(ポイント)  | 2,681  | 2,650-3,050   |

|              | 直近値    | 6ヵ月後の見通し      |
|--------------|--------|---------------|
| 米国 NYダウ(米ドル) | 44,911 | 42,000-48,000 |
| S&P500(ポイント) | 6,032  | 5,700-6,500   |

### 債券（10年国債利回り）

| (単位:%) | 直近値   | 6ヵ月後の見通し |
|--------|-------|----------|
| 日本     | 1.050 | 0.9-1.5  |

| (単位:%) | 直近値   | 6ヵ月後の見通し |
|--------|-------|----------|
| 米国     | 4.170 | 3.9-5.1  |

### リート

| (単位:ポイント)   | 直近値   | 6ヵ月後の見通し    |
|-------------|-------|-------------|
| 日本 東証REIT指数 | 1,662 | 1,550-1,850 |

| (単位:ポイント)      | 直近値   | 6ヵ月後の見通し    |
|----------------|-------|-------------|
| 米国 S&P米国REIT指数 | 1,975 | 1,800-2,100 |

### 為替（対円）

| (単位:円) | 直近値    | 6ヵ月後の見通し |
|--------|--------|----------|
| 米ドル    | 149.77 | 141-159  |
| ユーロ    | 158.41 | 149-167  |

| (単位:円)    | 直近値   | 6ヵ月後の見通し  |
|-----------|-------|-----------|
| オーストラリアドル | 97.51 | 90-104    |
| ブラジルレアル   | 25.11 | 24.0-28.0 |

注) 見通しは当社経済調査室。  
直近値および見通しは2024年11月29日（直近日休場の場合は前営業日の値）。

出所) S&P、LSEGより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意頂きたい事項」  
および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

## 日本

## 日経平均株価は半導体関連株軟調で下落

11月の日経平均株価は▲2.23%と下落。米大統領選挙でトランプ氏が勝利したことで6日は米国株が上昇し国内株を押し上げました。しかしその後、米エヌビディアなどの半導体関連株が軟調だったことから株価は下落。22日に政府が「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策-全ての世代の現在・将来の賃金・所得を増やす-」を閣議決定したことを受け株価は上昇しました。

## 景気回復が見込まれ株価は底堅く推移へ

政府による経済対策が打ち出される中、26日に石破首相は来年の春闘で大幅な賃上げが行われるよう協力を求めました。来年の国内景気は回復が続くとみえています。また、7-9月期の企業決算は事前予想を下回ったものの予想株価収益率（PER）は年初からの平均15倍程度に対し現在は14倍台半ばで推移しており米国株と比較しても割高感はありません。為替市場における円高への警戒は必要ですが株価は底堅い推移が予想されます。（本江）

## 米国

## 大統領選で共和党が勝利し、株価は上昇

11月のNYダウは前月比+7.5%と上昇しました。接戦が予想された大統領選は早期に決着がつき、大統領・上下院で共和党が勝利したことで、減税や規制緩和などの経済成長を促す政策が企業収益を押し上げるとの期待から株価は上昇しました。月半ばは一時的にトランプトレードの巻き戻しがみられたものの、大手ハイテク企業の決算発表を無難に通過したことで、高値圏で推移しました。

## 先行きの不透明感が株価の重しか

米国株は底堅い展開を予想します。企業収益拡大が予想されることが株価に追い風であり、規制緩和の恩恵を受ける金融やエネルギーセクターを中心に堅調な推移を予想します。ただし、関税や移民政策が株価の重しとなる可能性や、政権交代による外交政策の変化で地政学リスクが高まるなど、次期政権の政策不透明感がリスク回避の流れを生む点には注意が必要と考えます。（兼尾）

【図1】日本株の割高感の調整進む



注) 直近値は2024年11月29日。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成



注) 直近値は2024年11月29日。12カ月先予想PERを使用。

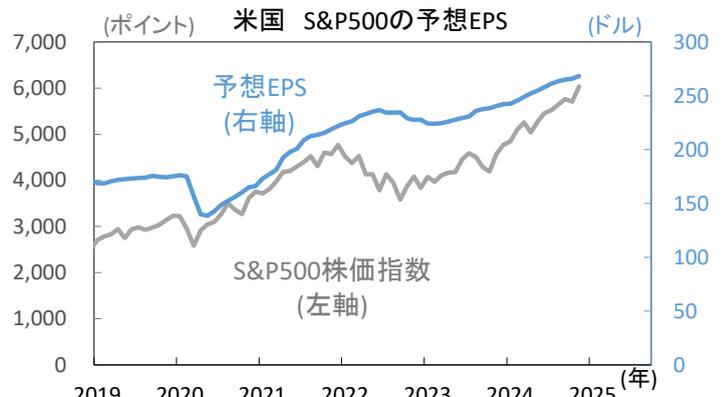
出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】予想EPSが拡大する中、株価上昇は継続か



注) 直近値は2024年11月29日。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成



注) 直近値は2024年11月29日時点。

予想EPS（一株当たり利益）はBloomberg集計の12カ月先予想。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

日本

日銀の利上げ観測の高まりから長期金利上昇

11月の10年国債利回りは+0.12%ptと上昇しました。6日、米国大統領選挙でのトランプ氏の勝利から米金利が上昇したことが国内の長期金利を押し上げました。月の後半はもみ合いとなったものの、日銀の植田総裁が18日の名古屋講演や21日のパリ講演にて、入手可能な情報に基づき金融政策を決める方針を示した局面では日銀の追加利上げ観測が高まり、長期金利は上昇しました。

日銀が利上げに踏み切るタイミングに注目

実質金利はマイナスで推移しており日銀による追加利上げの余地がある中、市場は利上げを織り込み長期金利は上昇基調です。12月18-19日の金融政策決定会合にて政策金利が0.5%に引き上げられるか注目されます。なお、日銀が12月に利上げを行わなかった場合2025年1月の会合で利上げを行う可能性が高いとみています。利上げのタイミングは経済指標と為替市場の動向次第となるでしょう。植田日銀総裁の今後の発言に注目です。(本江)

米国

米長期金利は一時4.4%台に上昇

11月の米10年国債利回りは前月から低下しました。月初は大統領選で共和党が全面的に勝利し、財政拡張的な政策の思惑からインフレ再燃や政府債務の増大が意識され、金利は4.4%台に上昇しました。その後、トランプトレードの巻き戻しや次期財務長官にベッセント氏の指名が発表され、金融市場の安定を重視した政策運営を行うとの見方から安心感が広がり、4.2%台に低下しました。

労働市場の急減速に注意

米金利は緩やかな低下を予想します。労働市場の正常化で賃金上昇がインフレ圧力となる可能性は低く、ディスインフレが続くとみているためです。労働市場の悪化リスクや米連邦準備理事会(FRB)の2%目標に向けたインフレ鈍化を受け、12月米連邦公開市場委員会(FOMC)でも利下げ継続とみまます。ただし、次期政権の政策から利下げペース減速の可能性がある中、ディスインフレ傾向が継続して見られるか注目されます。(兼尾)

【図3】日銀による追加利上げ観測高まる

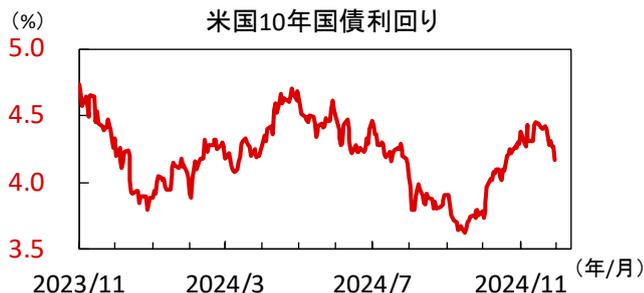


注) 直近値は2024年11月29日。 出所) Bloombergより当社経済調査室作成

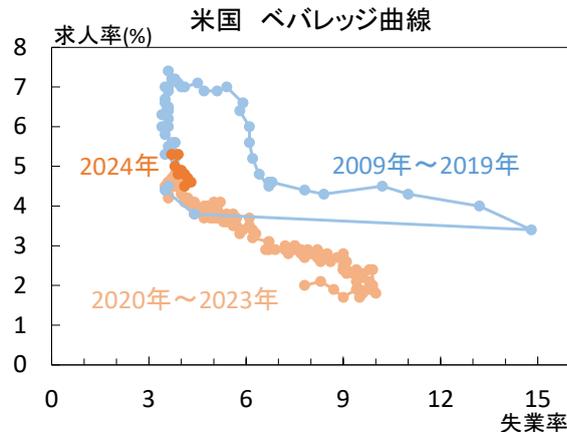


注) 直近値は2024年11月29日。 実質長期金利は10年国債利回り-ブレイクイーブンインフレ率。 出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図4】失業率が急上昇しかねない転換点に近づく



注) 直近値は2024年11月29日。 出所) Bloombergより当社経済調査室作成



注) 直近値は2024年9月。 出所) 米BLSより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



米ドル

米ドル円は月末に149円台に

11月の名目実効ドル（貿易加重の主要為替レート）、米ドル円は上昇しました。大統領選で共和党が勝利したことや米利下げ観測の後退で、米ドル円は日米金利差拡大で一時1ドル156円台になりました。その後はウクライナ情勢を巡る地政学リスクの高まりや関税強化の警戒感からリスク回避姿勢が強まり、円が買われたことや日銀追加利上げ観測の高まりから月末にかけて下落しました。

日銀政策と米次期政権の動向を注視

米ドルは底堅い展開を予想します。他国に比べて、堅調な米景気は米ドルを支えるとみています。米ドル円は日米金融政策の方向性の違いや、米新政権による財政拡張的な政策への警戒感が落ち着くにつれ、緩やかに円高ドル安が進行するとみています。ただし、想定以上に早期にトランプ政権が関税を引き上げればドル高圧力が高まる点や、日銀が利上げを見送る可能性が高まる等、円安材料が残存する点には注意が必要です。（兼尾）



ユーロ

ユーロドルは再び年初来安値を更新

11月のユーロ（～29日）は対ドルで▲2.8%と下落基調が継続。独仏の政治混迷や米大統領選挙でのトランプ氏の勝利等を背景に域内景気への先行き懸念が大きく強まりました。米利下げ期待が後退する一方、欧州中央銀行（ECB）の利下げ幅拡大観測は高まり、米欧の景気・金融政策の差が意識されました。対円でも▲4.3%と、日銀の追加利上げ観測の高まりからユーロ安が進みました。

ユーロ相場は弱含みな展開が継続か

ECBは景気下振れリスクへの懸念を一層強め、利下げ幅を拡大(0.25%pt⇒0.5%pt)する可能性が高まっています。対照的に、米経済は堅調さを保ち、次期政権の政策方針等を受けて利下げ期待は後退。米欧の利下げ姿勢の明確な方向性の違いから、ユーロドルは軟調地合いが続きそうです。また、日銀の12月利上げ観測が強まる中、対円でもユーロ安基調の継続が予想されます。（吉永）

【図5】2016年大統領選の翌年はドル安円高の動き



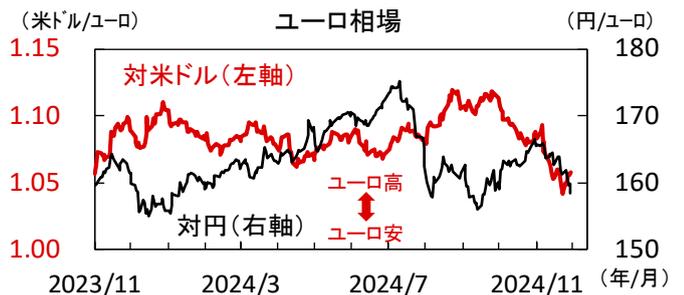
注) 直近値は2024年11月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

2016年、2024年大統領選前後の米ドル円の比較



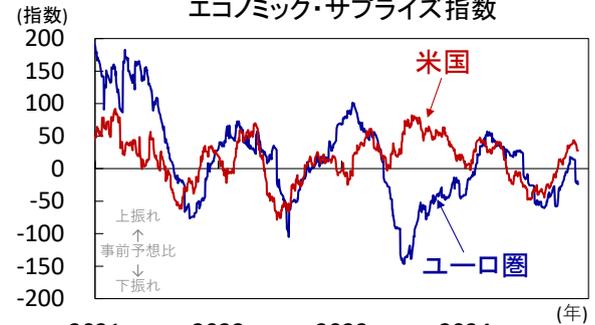
注) 直近値は2024年11月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図6】米欧景気の差がより鮮明に



注) 直近値は2024年11月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

米国・ユーロ圏  
エコノミック・サプライズ指数



注) 直近値は2024年11月29日。出所) LSEGより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。





オーストラリア(豪)ドル

トランプ氏の米大統領選勝利を受け軟化

11月の豪ドルは対米ドルで▲1.1%と下落。10月米雇用統計の下振れを受け米ドルが売られる場面で豪ドルは強含むも、5日の米大統領選でトランプ氏が勝利すると米ドル買いが膨らみ豪ドルは軟化。大統領選後も「トランプ・トレード」が継続するなか、豪ドルは月半ばまで軟調地合いに。その後、米ドル買いが一巡すると豪ドルは一旦持ち直すも、上値は重く横ばい圏で推移しました。

目先は一段の豪ドル安リスクに警戒が必要

2025年の米財政拡張見通しから米長期金利が上振れる可能性があり、トランプ次期大統領の掲げる関税政策によって、中国を中心に世界的な製造業活動が下押しされる懸念もあるため、米新政権発足に向けて豪ドルには下落圧力が加わる可能性があります。来年は主要国に比べゆっくりとした豪中銀の利下げペースにより、豪ドルは買われやすい状況になるとみていますが、目先は豪ドル安リスクに警戒が必要と考えています。(向吉)



ブラジルリアル

財政悪化が懸念され軟調に推移

リアルは11月に対米ドルで▲3.1%と軟調。財政健全化の動きに遅れがみられるなか、11月下旬に財政支出削減計画を公表も、同時に低所得労働者に対する所得税免除を表明。財政悪化懸念が高まったことでリアルは下落し、対米ドルでの過去最安値を更新しました。また、堅調な米景気指標を背景とした米大幅利下げ期待の後退もリアルの重しとなりました。

ブラジル中銀の金融引き締め姿勢が支えに

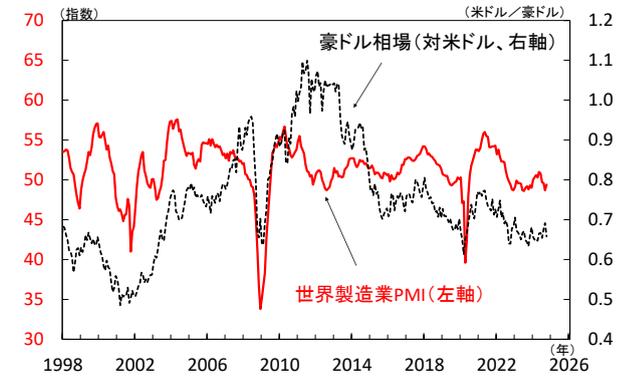
内需の堅調さに起因したインフレ再加速が意識されるなか、ブラジル中銀(BCB)はインフレ上振れリスクの大きさに言及。当面金融引き締め姿勢が維持されると見込まれ、高い実質金利がリアルを支える想定です。ただし、財政悪化や主要取引先である中国の不動産市場低迷による景気減速が懸念されており、財政健全化の遅れや輸出の鈍化はリアルの重しとなる見込みです。(北村)

【図7】世界的に生産活動が停滞すれば豪ドル軟化へ



注) 直近値は2024年11月29日。 出所) Bloombergより当社経済調査室作成

豪ドル相場と世界製造業PMI



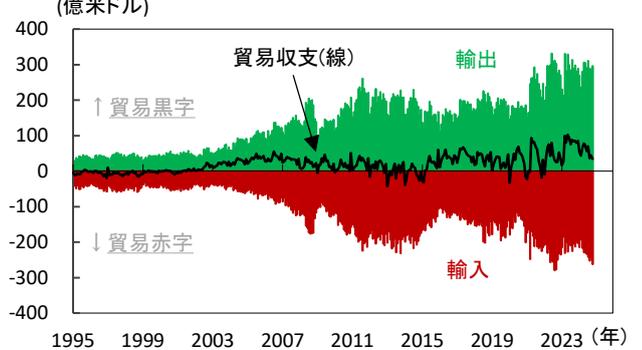
注) 直近値は2024年10月。 出所) S&Pグローバル、Bloombergより当社経済調査室作成

【図8】11月にリアルは対米ドルで▲3.1%下落



注) 直近値は2024年11月29日。 出所) Bloombergより当社経済調査室作成

ブラジル 貿易収支



注) 直近値は2024年10月。 出所) ブラジル中央銀行、CEICより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

日本

日本リートは軟調脱せず

11月の東証REIT指数は前月比▲1.2%と下落、用途別では住宅や物流倉庫が軟調に推移しました。米大統領・議会選挙は共和党が全て制するレッドスウィープとなり、トランプ次期政権の政策がインフレ高止まりや財政赤字拡大に繋がるとの懸念から、米長期金利が一時4.5%近傍に上昇しました。米金利上昇や日銀追加利上げ観測で国内長期金利も上昇する中、リート価格は下落しました。

日銀政策正常化が上値を抑制

日本リートは上値の重い展開を予想します。日銀の金融政策正常化は道半ばで、国内金利の先高観が根強いとみるためです。オフィス市況改善や国内景気の緩やかな回復などリートのファンダメンタルズは良好ながら、金利上昇に伴う利払い負担増加や不動産価格下落等への懸念が上値を抑えるとみます。12月日銀金融政策決定会合後に行われる植田日銀総裁の記者会見では来年以降の追加利上げに関する発言に注目が集まります。(田村)

米国

米長期金利上昇もリートは堅調に推移

11月のS&P米国リート指数は前月比+4.3%と上昇し、セクター別では戸建て住宅や集合住宅、ショッピングモール等が堅調でした。大統領選で共和党が勝利したことで金利が上昇し、リートの下落要因となったものの、7-9月期企業決算で市場予想を下回った企業が少なかったことや、次期トランプ政権が掲げる減税政策等が景気を押し上げるとの見方からリート価格は上昇しました。

次期政権の政策による金利高止まりが懸念点

米国リートは底堅い展開を予想します。全体の稼働率や収益はコロナ前の水準に概ね回復しており、ファンダメンタルズは健全とみます。データセンターやヘルスケア等の分野は長期で需要の拡大が見込まれる一方で、次期政権の政策の不確実性が意識されます。米連邦準備理事会(FRB)が来年の利下げペースを緩め、金利が高止まる可能性には注意が必要と考えます。(兼尾)

【図9】金利上昇はリート価格の重し



注) 直近値は2024年11月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

日本 東証REIT指数と10年国債利回り

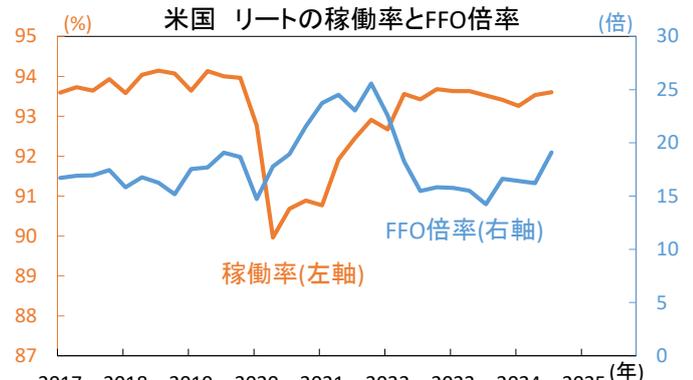


注) 直近値は2024年11月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図10】稼働率はコロナ前の水準に概ね回復



注) 直近値は2024年11月29日。出所) Bloombergより当社経済調査室作成



注) 直近値は2024年9月30日。FFO倍率はREIT価格をFFO(賃料収入からどの程度キャッシュを得られたかを示す収益性指標)で割った値。

出所) 米NAREITより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。

## ● 2024年12月の主要経済指標と政治スケジュール

| 月   | 火  | 水   | 木  | 金   |
|---|--|---|--|---|
| <b>12/2</b><br>(米) 10月 建設支出<br>(米) 11月 ISM製造業景気指数<br>(欧) 10月 失業率<br>(豪) 10月 住宅建設許可件数<br>(中) 11月 製造業PMI (財新)   | <b>3</b><br>(日) 11月 マネタリーベース<br>(伯) 7-9月期 実質GDP  | <b>4</b><br>(米) ページブック<br>(地区連銀経済報告)<br>(米) 10月 製造業受注(確報)<br>(米) 11月 ISMサービス業景気指数<br>(米) 11月 ADP雇用統計<br>(豪) 7-9月期 実質GDP<br>(伯) 10月 鉱工業生産            | <b>5</b><br>(米) 10月 貿易収支<br>(独) 10月 製造業受注<br>(仏) 10月 鉱工業生産<br>(英) 11月 新車登録台数   | <b>6</b><br>(日) 10月 景気先行指数<br>(日) 10月 家計調査<br>(日) 10月 毎月勤労統計<br>(米) 11月 労働省雇用統計<br>(米) 12月 ミシガン大学<br>消費者信頼感指数(速報)<br>(欧) 7-9月期 実質GDP(確報)<br>(独) 10月 貿易統計<br>(独) 10月 鉱工業生産 |
| <b>9</b><br>(日) 7-9月期 実質GDP(確報)<br>(日) 10月 経常収支<br>(日) 11月 銀行・信金貸出動向<br>(日) 11月 景気ウォッチャー<br>(欧) 12月 Sentix投資家信頼感指数<br>(中) 11月 生産者物価<br>(中) 11月 消費者物価    | <b>10</b><br>(日) 11月 マネーストック<br>(日) 11月 工作機械受注<br>(米) 11月 NFIB中小企業楽観指数<br>(伊) 10月 鉱工業生産<br>(豪) 金融政策決定会合<br>(豪) 11月 NAB企業景況感指数<br>(中) 11月 貿易統計<br>(伯) 11月 消費者物価 (IPCA)                | <b>11</b><br>(日) 11月 国内企業物価<br>(米) 11月 消費者物価<br>(加) 金融政策決定会合  | <b>12</b><br>(米) 11月 生産者物価<br>(欧) 欧州中央銀行(ECB)理事会<br>(欧) ラガルドECB総裁記者会見<br>(英) 10月 鉱工業生産<br>(英) 11月 RICS住宅価格<br>(豪) 11月 雇用統計<br>(伯) 10月 小売売上高<br>(印) 10月 鉱工業生産     | <b>13</b><br>(日) 日銀短観(12月調査)<br>(米) 11月 輸出入物価<br>(欧) 10月 鉱工業生産<br>(英) 12月 Gfk消費者信頼感指数   |
| <b>16</b><br>(日) 10月 機械受注<br>(日) 10月 第3次産業活動指数<br>(米) 12月 ニューヨーク連銀<br>製造業景気指数<br>(独) ショルツ首相の信任投票<br>(中) 11月 鉱工業生産<br>(中) 11月 小売売上高<br>(中) 11月 都市部固定資産投資 | <b>17</b><br>(米) 連邦公開市場委員会<br>(FOMC、~18日)<br>(米) 11月 小売売上高<br>(米) 11月 鉱工業生産<br>(米) 12月 NAHB住宅市場指数<br>(独) 12月 ifo景況感指数<br>(独) 12月 ZEW景況感指数<br>(英) 10月 失業率 (ILO基準)<br>(豪) 12月 消費者信頼感指数 | <b>18</b><br>(日) 日銀金融政策決定会合<br>(~19日)<br>(日) 11月 貿易統計<br>(米) パウエルFRB議長記者会見<br>(米) 11月 住宅着工・許可件数<br>(英) 11月 消費者物価<br>(英) 11月 生産者物価<br>(豪) 11月 景気先行指数 | <b>19</b><br>(日) 植田日銀総裁定例記者会見<br>(米) 7-9月期 実質GDP(確報)<br>(米) 11月 中古住宅販売件数<br>(米) 11月 景気先行指数<br>(欧) EU首脳会議(~20日)<br>(独) 1月 Gfk消費者信頼感指数<br>(英) 金融政策委員会(MPC)<br>結果公表 | <b>20</b><br>(日) 11月 消費者物価(全国)<br>(米) 11月 個人所得・消費<br>(米) 12月 ミシガン大学<br>消費者信頼感指数(確報)<br>(欧) 12月 消費者信頼感指数<br>(英) 11月 小売売上高  |
| <b>23</b><br>(米) 12月 消費者信頼感指数<br>(コンファレンス・ボード)<br>(英) 7-9月期 実質GDP(確報)   | <b>24</b><br>(米) 11月 耐久財受注<br>(米) 11月 製造業受注(速報)<br>(米) 11月 新築住宅販売件数  | <b>25</b><br>(日) 11月 企業向けサービス価格   | <b>26</b>  | <b>27</b><br>(日) 11月 労働関連統計<br>(日) 11月 小売売上高<br>(日) 11月 鉱工業生産(速報)<br>(米) 11月 卸売在庫(速報)   |
| <b>30</b><br>(米) 11月 中古住宅販売<br>仮契約指数<br>(米) 12月 シカゴ購買部協会<br>景気指数  | <b>31</b><br>(米) 10月 S&P1707 <sup>TM</sup> /<br>ケース・シラー住宅価格指数<br>(中) 12月 製造業PMI(政府)<br>(中) 12月 非製造業PMI(政府)   | <b>1/1</b>  | <b>2</b><br>(米) 11月 建設支出<br>(欧) 11月 マネーサプライ(M3)  | <b>3</b><br>(独) 12月 失業者数  |

注) (日) 日本、(米) 米国、(欧) ユーロ圏、(独) ドイツ、(仏) フランス、(伊) イタリア、(英) 英国、(豪) オーストラリア、(加) カナダ、(中) 中国、(印) インド、(伯) ブラジル、を指します。日程および内容は変更される可能性があります。

出所) 各種情報、Bloombergより当社経済調査室作成

注) 直近値は2024年11月29日

| 株式      |                  | (単位:ポイント) | 直近値        | 10月末       | 騰落率%   |
|---------|------------------|-----------|------------|------------|--------|
| 日本      | 日経平均株価(円)        |           | 38,208.03  | 39,081.25  | ▲ 2.23 |
|         | TOPIX            |           | 2,680.71   | 2,695.51   | ▲ 0.55 |
| 米国      | NYダウ(米ドル)        |           | 44,910.65  | 41,763.46  | 7.54   |
|         | S&P500           |           | 6,032.38   | 5,705.45   | 5.73   |
|         | ナスダック総合指数        |           | 19,218.17  | 18,095.15  | 6.21   |
| 欧州      | ストックス・ヨーロッパ600   |           | 510.25     | 505.39     | 0.96   |
| ドイツ     | DAX®指数           |           | 19,626.45  | 19,077.54  | 2.88   |
| 英国      | FTSE100指数        |           | 8,287.30   | 8,110.10   | 2.18   |
| オーストラリア | S&P/ASX200指数     |           | 8,436.23   | 8,160.03   | 3.38   |
| 香港      | ハンセン指数           |           | 19,423.61  | 20,317.33  | ▲ 4.40 |
| 中国      | 上海総合指数           |           | 3,326.46   | 3,279.82   | 1.42   |
| インド     | S&P BSE SENSEX指数 |           | 79,802.79  | 79,389.06  | 0.52   |
| ブラジル    | ボベスパ指数           |           | 125,667.83 | 129,713.33 | ▲ 3.12 |
| 先進国     | MSCI WORLD       |           | 3,810.14   | 3,647.14   | 4.47   |
| 新興国     | MSCI EM          |           | 1,078.57   | 1,119.52   | ▲ 3.66 |
| 新興アジア   | MSCI EM ASIA     |           | 595.97     | 619.17     | ▲ 3.75 |

| 為替(対円)            |  | (単位:円) | 直近値    | 10月末   | 騰落率%    |
|-------------------|--|--------|--------|--------|---------|
| 米ドル               |  |        | 149.77 | 152.03 | ▲ 1.49  |
| ユーロ               |  |        | 158.41 | 165.48 | ▲ 4.27  |
| 英ポンド              |  |        | 190.79 | 196.12 | ▲ 2.71  |
| カナダドル             |  |        | 106.95 | 109.13 | ▲ 1.99  |
| オーストラリアドル         |  |        | 97.51  | 100.07 | ▲ 2.56  |
| ニュージーランドドル        |  |        | 88.61  | 90.86  | ▲ 2.48  |
| 中国人民元             |  |        | 20.654 | 21.362 | ▲ 3.31  |
| インドルピー            |  |        | 1.7743 | 1.8115 | ▲ 2.05  |
| インドネシアルピア(100ルピア) |  |        | 0.9448 | 0.9685 | ▲ 2.45  |
| タイバーツ             |  |        | 4.3621 | 4.4989 | ▲ 3.04  |
| マレーシアリング          |  |        | 33.765 | 35.033 | ▲ 3.62  |
| ブラジルリアル           |  |        | 25.109 | 26.273 | ▲ 4.43  |
| メキシコペソ            |  |        | 7.351  | 7.588  | ▲ 3.11  |
| 南アフリカランド          |  |        | 8.298  | 8.643  | ▲ 4.00  |
| トルコリラ             |  |        | 4.31   | 4.42   | ▲ 2.50  |
| ロシアルーブル           |  |        | 1.4064 | 1.5630 | ▲ 10.02 |

| 国債利回り    |      | (単位:%) | 直近値    | 10月末   | 騰落幅%    |
|----------|------|--------|--------|--------|---------|
| 日本       | 10年物 |        | 1.050  | 0.935  | 0.115   |
| 米国       | 10年物 |        | 4.170  | 4.285  | ▲ 0.115 |
| ドイツ      | 10年物 |        | 2.088  | 2.390  | ▲ 0.302 |
| 英国       | 10年物 |        | 4.242  | 4.446  | ▲ 0.204 |
| カナダ      | 10年物 |        | 3.086  | 3.219  | ▲ 0.133 |
| オーストラリア  | 10年物 |        | 4.340  | 4.504  | ▲ 0.164 |
| ニュージーランド | 10年物 |        | 4.382  | 4.477  | ▲ 0.095 |
| 中国       | 10年物 |        | 2.028  | 2.147  | ▲ 0.119 |
| インド      | 10年物 |        | 6.743  | 6.842  | ▲ 0.099 |
| インドネシア   | 10年物 |        | 6.854  | 6.766  | 0.088   |
| ブラジル     | 10年物 |        | 13.409 | 12.792 | 0.617   |
| メキシコ     | 10年物 |        | 10.007 | 10.072 | ▲ 0.065 |
| 南アフリカ    | 10年物 |        | 10.138 | 10.552 | ▲ 0.414 |
| トルコ      | 10年物 |        | 27.400 | 28.275 | ▲ 0.875 |

| 政策金利     |              | (単位:%) | 直近値   | 10月末  | 騰落幅%   |
|----------|--------------|--------|-------|-------|--------|
| 日本       | 無担保コール翌日物金利  |        | 0.25  | 0.25  | 0.00   |
| 米国       | FF目標金利(上限値)  |        | 4.75  | 5.00  | ▲ 0.25 |
| ユーロ圏     | リファイナンスレート   |        | 3.40  | 3.40  | 0.00   |
| 英国       | バンクレート       |        | 4.75  | 5.00  | ▲ 0.25 |
| カナダ      | オーバーナイトレート   |        | 3.75  | 3.75  | 0.00   |
| オーストラリア  | キャッシュレート     |        | 4.35  | 4.35  | 0.00   |
| ニュージーランド | キャッシュレート     |        | 4.25  | 4.75  | ▲ 0.50 |
| 中国       | 1年物最優遇貸付金利   |        | 3.10  | 3.10  | 0.00   |
| インド      | レポレート        |        | 6.50  | 6.50  | 0.00   |
| インドネシア   | 7日物リバース・レポ金利 |        | 6.00  | 6.00  | 0.00   |
| ブラジル     | SELIC金利誘導目標  |        | 11.25 | 10.75 | 0.50   |
| メキシコ     | オーバーナイトレート   |        | 10.25 | 10.50 | ▲ 0.25 |
| 南アフリカ    | レポレート        |        | 7.75  | 8.00  | ▲ 0.25 |
| トルコ      | 1週間物レポ金利     |        | 50.00 | 50.00 | 0.00   |

| リート     |             | (単位:ポイント) | 直近値      | 10月末     | 騰落率%   |
|---------|-------------|-----------|----------|----------|--------|
| 日本      | 東証リート指数     |           | 1,662.14 | 1,682.36 | ▲ 1.20 |
| 米国      | S&P米国REIT指数 |           | 1,974.74 | 1,893.75 | 4.28   |
| 欧州      | S&P欧州REIT指数 |           | 773.16   | 782.15   | ▲ 1.15 |
| オーストラリア | S&P豪州REIT指数 |           | 1,311.81 | 1,281.56 | 2.36   |

| 商品    |              | (単位:ポイント) | 直近値      | 10月末     | 騰落率%   |
|-------|--------------|-----------|----------|----------|--------|
| 原油    | WTI先物(米ドル)   |           | 68.00    | 69.26    | ▲ 1.82 |
| 金     | COMEX先物(米ドル) |           | 2,657.00 | 2,749.30 | ▲ 3.36 |
| 工業用金属 | ブルームバーグ商品指数  |           | 145.24   | 147.53   | ▲ 1.55 |
| 穀物    | ブルームバーグ商品指数  |           | 31.18    | 31.61    | ▲ 1.35 |

注) 株式は現地通貨(MSCIは米ドル)ベース、リートは現地通貨ベース(米国・欧州・オーストラリアは配当込み指数)、商品は米ドルベース。  
 FF目標金利はレンジ上限値を表記。原油は1バレル当たり、金は1オンス当たりの価格。  
 直近値および前月末値のデータがない場合(休場など)、それぞれ前営業日の値を表示。

出所) MSCI, S&P, Bloombergより当社経済調査室作成

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」および「本資料中で使用している指数について」を必ずご覧ください。



三菱UFJアセットマネジメント

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。（作成基準日：2024年12月3日）
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

## 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。

FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。“FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとします。FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。

MSCI WORLD、MSCI EM、MSCI EM ASIAに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>）およびブルームバーグ（Bloomberg®）は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー（Bloomberg Finance L.P.）およびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）のサービスマークであり、三菱UFJアセットマネジメントによる一定の目的での利用のためにライセンスされています。ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>）は、ブルームバーグとUBSセキュリティーズ・エル・エル・シー（UBS Securities LLC）の間の契約に従ってブルームバーグが算出し、配信し、販売するものです。ブルームバーグ、ならびにUBSセキュリティーズ・エル・エル・シーおよびその関係会社（以下「UBS」と総称します。）のいずれも、三菱UFJアセットマネジメントの関係会社ではなく、ブルームバーグおよびUBSは、三菱UFJアセットマネジメントが運用するファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびUBSのいずれも、ブルームバーグ商品指数（Bloomberg Commodity Index<sup>SM</sup>）に関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

S&P先進国REIT指数はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P DJIはS&P先進国REIT指数、S&P新興国REIT指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会